

2014年度 一般2月入学試験

日本史

〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は14ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があってから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

日 本 史

(60分 100点)

I 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(30点)

1868年、明治新政府は五箇条の誓文を公布して国策の基本方針を示し、天皇が百官を率いて神々に誓約した。民衆に対しては、誓文公布の翌日、を出して、儒教道徳を説き、徒党・強訴・逃散やキリスト教を禁じた。続いて政体書を制定し、政府の組織を定めた。また、関東を鎮圧すると江戸を東京と改め、年号をから明治と改元した。

新政府は強力な国家を建設するために、中央集権をめざした。まず旧幕府領を直轄地として府県を置き、諸藩に対して版籍奉還を命じた。これによって藩主の家禄と藩財政は分離したが、各藩は依然として課税権と軍事権を持ち、旧大名が実質的に温存された。そこで、新政府は藩制度の全廃を決意し、年、廃藩置県を断行した。こうして国内の政治的統一が完成し、新政府内では、太政大臣に就任した公家のとともに、藩閥出身者が実権を握った。

税制の統一と財政の安定も、新政府にとって重要な課題であった。新政府の財源は旧幕府時代と同じ年貢で、藩ごとに税額も異なり、収穫の豊凶によって年々変動した。新政府は年貢負担者に地券を発行し、年には、それにもとづいて地租改正条例を公布した。改正の要点は、課税基準を地価に変更し、税率を地価の%とし、地券所有者を納税者とするというものであった。地租改正の実施によって、近代的な租税の形式が整い、政府財政の基礎はいったん固まった。

問1 下線部(A)五箇条の誓文の文章として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ
選びマークしなさい。

- ① 智識ヲ世界ニ求メ天地ノ公道ニ基クベシ
- ② 官武一途庶民ニ至ル迄盛ニ経綸ヲ行フベシ
- ③ 広ク会議ヲ興シ万機公論ニ決スベシ
- ④ 上下心ヲ一ニシテ大ニ皇基ヲ振起スベシ
- ⑤ 旧来ノ陋習ヲ破リ人心ヲシテ倦ザラシメン事ヲ要ス

問2 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選
びマークしなさい。

- ① 五榜の掲示 ② 慶安の触書 ③ 教育勅語 ④ 旧里帰農令
- ⑤ 風俗取締令

問3 下線部(C)政体書についての記述として最も適当なものを、次の①～④の中か
ら1つ選びマークしなさい。

- ① 政体書を起草したのは、大久保利通と福岡孝弟である。
- ② 高級官吏の互選を定めたが、1回実施されただけで終わった。
- ③ フランス憲法を模倣して三権分立制を取り入れた。
- ④ 国家権力を議政官とよぶ中央政府に集中させた。

問4 空欄 に入る年号として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選
びマークしなさい。

- ① 嘉永 ② 文久 ③ 元治 ④ 安政 ⑤ 慶応

問5 下線部(E)版籍奉還についての記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 版籍奉還とは、領地と領民を天皇に返還することをいう。
- ② 薩摩・長州・土佐・肥後の4藩主が、最初に版籍奉還を出願した。
- ③ 版籍奉還した旧大名には、国替えを行って家禄を与えた。
- ④ 版籍奉還を建議したのは、西郷隆盛と勝海舟である。

問6 空欄 に入る年代として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 1868 ② 1869 ③ 1870 ④ 1871 ⑤ 1872

問7 下線部(G)廃藩置県についての記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 廃藩置県の結果、はじめ1使・3府・72県が誕生した。
- ② 知藩事は罷免されて東京で蟄居を命じられた。
- ③ 廃藩置県は、陸軍省の軍事力を背景におこなわれた。
- ④ 中央から府知事・県令が派遣され、地方行政に当ることになった。

問8 空欄 に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 沢宣嘉 ② 井上馨 ③ 岩倉具視 ④ 後藤象二郎 ⑤ 三条実美

問9 空欄 に入る年代として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 1870 ② 1871 ③ 1872 ④ 1873 ⑤ 1874

問10 空欄 に入る数字として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 1 ② 3 ③ 5 ④ 10 ⑤ 20

Ⅱ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(20点)

平安時代も10世紀に入ると、違法な土地所有を禁じたりするために902年に出された を初めとして、律令政治の再建をめざしたものの、国家財政の維持は不可能となっていった。このような状況を受け、地方政治の運営も変容していくこととなり、それと共に課税の方法も変わっていった。

^(B) 荘園もその性質が10世紀には変わっていった。というのも、8～9世紀に形成されていた荘園が、上記のような統治制度の変容を受け、衰退していったからである。10世紀後半には臨時雑役などを免除されて自ら領地を開発する者が増えた。11世紀には、それらの者は とよばれるようになっていき、この中には ^(D) 所領を権力者の荘園とする者もいた。その後、こうした荘園には 様々な特権 ^(E) が認められるものも多くなっていった。

このように、荘園をはじめとした地方政治が変容していく中で、地方に武力を持った有力者が現れるようになり、時には反乱も生じることとなった。その際には、鎮圧のために中下級貴族が などに任じられ討伐したが、現地に残ったその子孫を中心として 武士団が形成されていった。そして、武士の中には、「新皇」と名乗った ^(G) のように反乱を起こす者も現れる始末であった。そのような状況の下、朝廷の力は徐々に低下することになり、西国では が、東国では、 が大きな力を持つようになった。特に、後者は、清原氏一族の内紛を平定した などで着々と地位をきずいていった。

問1 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 長久の荘園整理令 ② 延久の荘園整理令 ③ 寛徳の荘園整理令
④ 延喜の荘園整理令 ⑤ 永観の荘園整理令

問2 下線部(B)についての記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ
選びマークしなさい。

- ① 戸籍に基づき、成人男性を中心に課税するようになった。
- ② 田畑の面積に比例して、課税するようになった。
- ③ 毎年一定量の稲を納めるのではなく、毎年の収穫高に応じて納めるようになった。
- ④ 税を取りまとめるようになった者を名主と呼び、その後彼らは田堵に成長していった。

問3 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選
びマークしなさい。

- ① 名主 ② 国司 ③ 開発領主 ④ 受領 ⑤ 目代

問4 下線部(D)に関して、そのような形態の荘園の名称として適当なものを、次の
①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 自墾地系荘園 ② 国衙領 ③ 寄進地系荘園 ④ 墾田地系荘園
- ⑤ 既墾地系荘園

問5 下線部(E)様々な特権に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 太政官符や民部省符によって税の免除が認められた荘園も生まれ、そのような荘園を国免荘といった。
- ② 荘園に認められた特権にもかかわらず、荘園領主に土地や人民に対する私的支配が強まることはなかった。
- ③ 検田使などの立入を拒否することが出来ただけでなく、その後、その特権は検非違使などによる立入の拒否にまで発展した。
- ④ 特権を認められた荘園領主と国司は一般に友好的な関係をきずいており、特に対立が生じることもなかった。

問6 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 押領使 ② 在庁官人 ③ 滝口の武士 ④ 国衙 ⑤ 郡司

問7 下線部(G)に関連して、当時の武士団に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 惣領のもとに、郎党が従い、郎党は家子などをかかえた。
- ② 下人は直営地を実際に耕作する下層農民であった。
- ③ 郎党とは惣領の分家・庶子などのことを指した。
- ④ 惣領のもとに従う家子と郎党は対等な関係であった。

問8 空欄 に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 平将門 ② 藤原純友 ③ 平貞盛 ④ 源経基 ⑤ 藤原秀郷

問9 空欄 と に入る語句の組合せとして適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① I－桓武平氏， J－清和源氏 ② I－奥州藤原氏， J－桓武平氏
③ I－清和源氏， J－桓武平氏 ④ I－桓武平氏， J－奥州藤原氏
⑤ I－清和源氏， J－奥州藤原氏

問10 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 平忠常の乱 ② 後三年合戦 ③ 平治の乱 ④ 前九年合戦
⑤ 保元の乱

Ⅲ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(30点)

初期には活発であった海外との交易も幕藩体制の確立とともにしだいに制限されるようになり、いわゆる鎖国と呼ばれる状態となった。 を著したドイツ人医師ケンペルは、その中で日本の状況を長崎を通して とのみ交渉を持ち閉ざされていると指摘している。もと 通詞である志筑忠雄は の一部を和訳し、これを「鎖国論」と題した。鎖国令は1633年から1639年まであわせて5回に及び発せられた。^(C)

鎖国状態といっても、 のほか ・ ・ ・ との交流が持たれた。 とは対馬藩を通じておこなわれ、 とは松前藩が窓口とされた。対馬藩主の宗氏は との間に を結び、幕府から外交上の特権である貿易独占を認められていたが、そこでの貿易利潤が家臣に対する知行ともなっていた。松前氏もまた との交易権を知行として家臣団との主従関係を結んでいた。

幕府は銀の流出を防ぐ狙いもあって との交易では1685年には輸入額を制限し、ついで1688年に来航を年間70隻に制限した。 は1609年に の軍に征服され、薩摩藩の支配下に置かれた。^(J)

問1 空欄 に入る書名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 『ターヘル＝アナトミア』 ② 『大日本史』 ③ 『大君の都』
④ 『西洋紀聞』 ⑤ 『日本誌』

問2 空欄 ・ ・ ・ ・ に入る語句として適当なものを、次の①～⑩の中から1つずつ選びマークしなさい。

- ・ - ・ - ・
 - ・ -

- ① 朝鮮 ② アイヌ ③ スペイン ④ ポルトガル ⑤ ロシア
⑥ 中国 ⑦ 琉球 ⑧ オランダ ⑨ インド ⑩ イギリス

問3 下線部(C)の内容に関する組合せとして最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 1633年－奉書船以外の海外渡航禁止
② 1635年－貿易に関係のないポルトガル人を追放
③ 1636年－ポルトガル船の来航を禁止
④ 1639年－海外往来通商制限

問4 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 己酉約条 ② 天津条約 ③ 北京条約 ④ 辛丑和約 ⑤ 江華条約

問5 空欄 に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 島津久光 ② 島津義久 ③ 島津家久 ④ 島津重豪 ⑤ 島津斉彬

問6 下線部(J)支配の内容に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

30

- ① 農村支配を確立するために検地や刀狩をおこなった。
- ② 約9万石の王国とし、中国との朝貢貿易の継続を禁じた。
- ③ 新たに将軍が交代する度に謝恩使を派遣させた。
- ④ 首里に倭館を設置し、黒砂糖を上納させた。

Ⅳ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(20点)

室町時代は、動乱の南北朝時代を経た後、武士による政治が安定し、足利義満の時代に北山文化、足利義政の時代に東山文化が生まれた。

南北朝時代は、動乱の影響もあってか歴史書・軍記物が多く著された。例えば、南北朝動乱の全体を描いた はその代表である。また、学問・思想分野においては、北畠親房が日本の官制の沿革について記述した を生み出している。二条河原落書に見られるように も流行した。

北山文化では、夢窓疎石が足利尊氏の帰依を受けて以来、幕府の保護の下、 が栄え、 を頂点とする五山・十刹の制もこの時代にほぼ完成した。この影響は絵画にも色濃く表れ、明兆・如拙らによって の基礎が築かれることとなった。他方で、芸能分野では、足利義満に庇護を受けた観阿弥・世阿弥親子によって が完成した。

室町後期の東山文化では、京だけでなく地方でも文化が栄えた。京においては、足利義政により慈照寺銀閣が建立された。その建築様式は ^(H)といわれる。もともと、仏教に関しては、五山派はおとろえていくこととなり、他方で、東国で発展した日蓮宗が京に進出し、法華一揆を結んで、一向一揆と対決することになった。^(J)

問1 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 『平家物語』 ② 『太平記』 ③ 『水鏡』 ④ 『源平盛衰記』
- ⑤ 『愚管抄』

問2 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 『神皇正統記』 ② 『続日本紀』 ③ 『公事根源』 ④ 『建武年中行事』
- ⑤ 『職原抄』

問3 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 俳諧 ② 短歌 ③ 連歌 ④ 川柳 ⑤ 漢詩

問4 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 真言宗 ② 臨済宗 ③ 浄土宗 ④ 曹洞宗 ⑤ 天台宗

問5 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 南禅寺 ② 天竜寺 ③ 東福寺 ④ 大徳寺 ⑤ 妙心寺

問6 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 水墨画 ② 絵巻物 ③ 似絵 ④ 曼荼羅 ⑤ 濃絵

問7 空欄 に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 曲舞 ② 浄瑠璃 ③ 猿楽能 ④ 狂言 ⑤ 田楽能

問8 下線部(H)の原因として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 38

- ① 地方の武士たちが京の文化に魅力を感じなくなり、独自の文化を発展させたため。
- ② 幕府が積極的に地方に文化を普及させる努力をしたため。
- ③ 各地の有力大名が海外と交易するに伴い、海外からの文化が伝播したため。
- ④ 応仁の乱で京が荒廃し、京の公家が地方に下ったため。

問9 空欄 I に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 39

- ① 書院造
- ② 寝殿造
- ③ 禅宗様
- ④ 数寄屋造
- ⑤ 大仏様

問10 下線部(J)に関する記述として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 40

- ① 法華一揆によって東本願寺は焼き打ちされるに至った。
- ② 法華一揆をきっかけとして、応仁の乱が終結することとなった。
- ③ その後、法華一揆は延暦寺と衝突し、一時、京を追い払われた。
- ④ 法華一揆を結んだのは、京の農民たちであった。